

新聞を通して、 自分の考えや意見を表現できる生徒の育成

日南市立南郷中学校
教諭 有田 桂子

1 はじめに

インターネットの普及に伴い、新聞の購読者は激減しているといわれる。本校においても、生徒が情報を収集する手段として、まず挙げられるのがインターネットである。数年前まで、学習で新聞記事を話題にすると、たくさんの生徒と話題を共有できたものだが、近頃は、新聞よりもスピーディーに情報を得られるインターネットやテレビからの情報が圧倒的に多いようだ。実際、家庭で新聞を購読していない生徒が多く、そのほとんどがパソコンやテレビが情報入手手段の主流になっていることが伺える。確かに早く情報を得るため有効なものではあるが、間違った情報も多々あり、自分で得たものを、読み、分析し、判断できる能力が必要になる。新聞はその学習の媒体として大変有効なものであると考える。

本校は全校生徒250名の中規模校である。港町として漁業を中心に栄え、自然環境に恵まれている。校区内の小学校とも連携して、「時と場に応じた言動や自己表現のできる生徒の育成」を学校の研究の柱として取り組んでいる。これまでも「表現力」について様々な取り組みがなされていた。そこに、新聞を有効に活用し、文章を読んだり、書いたり、考えたりする活動を発展させ、豊かな表現ができ、互いに伝えあえる生徒の育成を図りたい。

2 主題設定の理由

新聞からの情報を活用しやすい環境を作り、生徒が自ら新聞を読み、考えることができれば、教科や日常指導において、新聞記事を活用した学習活動が活性化し、情報を的確に選択し、豊かな表現活動が展開できるであろう。

(1) 新聞記事に親しむ場の設定

(2) 新聞記事を使った授業展開

(3) 新聞記事を使った表現活動

以上3つの活動を継続的に取り入れていき、自己表現できる生徒の育成を図っていった。

3 研究の実際

(1) 新聞記事に親しむ場の設定

① 『新聞コーナー』設置

常に全校生徒が通行する階段フロアに『情報コーナー』を設置した。進路情報コーナーと関連させ、掲示や資料を整理したことで、特に3年生が受験対策として、積極的に活用していた。NIE指定によって複数の新聞が届く中、生徒が目にとめやすく、誰でもいつでも手にとって読むことができるよう配置し、休み時間に、スピーチの材料を探している生徒や、授業で利用したい記事を探しにくる生徒がいた。



【情報コーナー…進路情報に加え、新聞常設と記事掲示】

② 生徒のスクラップ活動

ジャンルごとに記事を切り取り、パネルに貼って紹介。学級の文化委員会新聞係は定期的に「話題の新聞記事」や「今週の気になるニュース」と題してポスターを作成した。各学

年廊下に掲示し、毎週張り替えて情報発信していた。その際も、『情報コーナー』新聞が自由に利用された。夏休みにはPTAの学力向上委員会が協力し、新聞感想コンクールが実施され、優秀作品は表彰された。



【文化委員会の活動…今週のニュース展示】



【PTA学力向上委員会が実施した新聞感想コンクール】

(2) 新聞記事を使った授業展開

〔国語科〕

宮崎日日新聞で特集された方言の記事を使い、共通語と比較したり、私たちが方言と気づかず使っている言葉を理解していった。また、「私たちの方言集」を作り方言の利点や、方言の役割を学習した。

新聞のコラム欄などを切り抜き、ミニ意見文(300字)をまとめる活動を週に1回ずつ授業の導入で行った。書いた意見文は掲示し、生徒同士読みあうようにした。



【コラムに対する意見文は個別に掲示】

〔社会科〕

社会科の定期テストでは必ず時事問題を出題している。その際、新聞に目を通すよう、事前に、予告し、新聞に触れさせた。

〔総合的な学習〕

調べ学習、文化発表へ向けて、たくさんの新聞が活用できた。

文化委員会の活動では学級新聞創作コンクールを実施され、優秀作品を表彰した。

(3) 新聞記事を使った表現活動

① 社会問題を扱った劇の発表

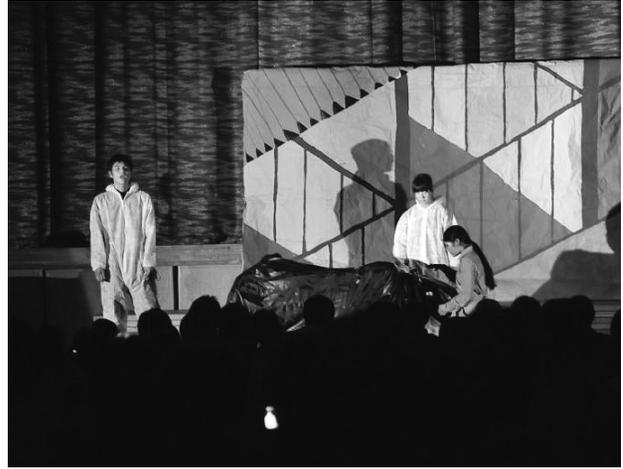
宮崎県で発生した口蹄疫を題材に劇を創作、文化発表会で上演した。台本は、新聞に掲載されていた二軒の農家の苦悩を、劇化し、自分たちの生活を振り返る構成になった。

劇制作班と展示班に分かれ、劇制作と同時に、口蹄疫に関係するすべての関連記事をスクラップしたものを展示した。

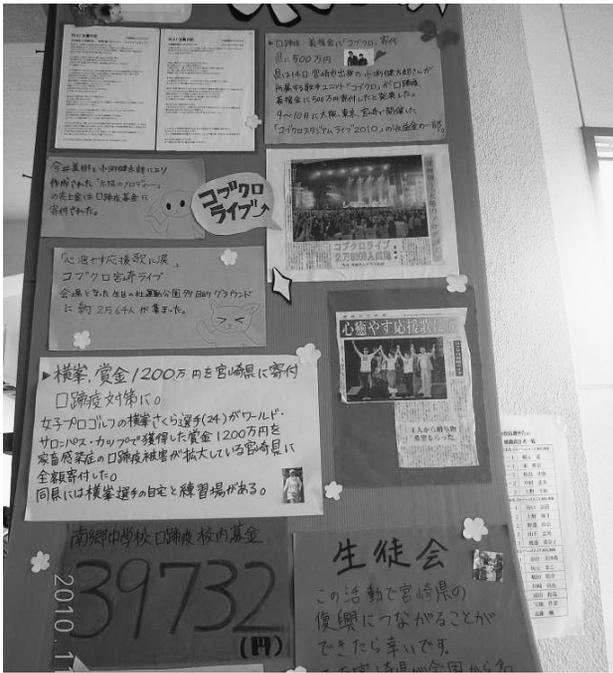
②新聞をテーマにしたスピーチ発表

生徒がスピーチをする場を多く設けた。その発表においても、時事的な問題をテーマにスピーチした。

学級スピーチ、放送スピーチ、学年スピーチ、



【文化発表会で口蹄疫をテーマにした創作劇の発表】



【義援の輪を集めたパネル】



【劇についての本校が掲載された新聞記事】
宮日H22年10月29日



【全校スピーチのようす…全員原稿を見ない】



【スピーチ原稿用紙…発表後に掲示】

全校スピーチとレベルアップしていき、どんな場面でもほとんどの生徒が原稿を見ずに、スピーチできるようになっている。

4 成果と課題

(1) 成果

- ・ 全校生徒が手軽に新聞に触れることのできる『情報コーナー』を設置したことで、新聞を購読していない生徒も新聞に親しみ、興味をもつことができた。
- ・ 新聞を使って書いたり、記事を要約したり考えたりする活動を常時指導の中に入れてきたことで、読解力を高める基礎が養われた。
- ・ スピーチや、文化発表会の劇など、多様な活動を新聞と関連させたことで学校全体のNIEに対する意識が高まった。
- ・ 様々な表現活動に、新聞が有効利用され、今後も継続的に活用していく土台ができた。

(2) 課題

- ・ 新聞を使った授業展開については単発的で、計画的ではなかった。教師側が、授業に関連した情報や材料集めを計画的にする必要がある。
- ・ 教師主導型の取り組みが多かった。生徒の活動に移行し、生徒が考え、自ら表現力を高めようとする方法を意図的に仕掛けたい。